

ヒョウタン、桜、ウサギ、紅葉など10種類の模様がはめ込まれています



## お土産品の最優秀賞受賞 村崎野の(有)夢工房

全国各地の観光土産品の中から優れたものを選ぶ第49回全国推奨観光土産品審査会(日本商工会議所・全国観光土産品連盟主催)で、村崎野の(有)夢工房(藤田正子社長)が工芸部門の最優秀賞に当たる経済産業大臣賞を受賞しました。

受賞したのは「貝象嵌黒檀箸置き『ミックス』」。黒檀の木の表面を彫ったくぼみに、貝殻でかたどったヒョウタンや桜などの模様をはめ込んだ箸置きです。技術・デザイン性の高さとともに、お土産としての手ごろな大きさ・価格が評価されました。

## 防災訴え力強く分列行進 消防出初め式

平成21年市消防出初め式は12日、さくらホールで消防団、婦人消防協力隊ら約1,000人が出席して開催されました。

式典では、統監の伊藤市長が「消防団が中心となり地域の安全安心を共に守っていききたい」と式辞を述べ、赤平道孝消防団長は「個人個人が危機管理意識を持って鍛錬を重ねることが大事。住民の負託に応え精進する」と訓示。式典後には同ホールから新穀町を經由して本庁舎まで分列行進が行われ、防火・防災意識の高揚を図りました。



きびきびとした表情で分列行進する消防団員ら

## 緑化運動ポスター準特選 江釣子小 堀口さん



(社)国土緑化推進機構が主催する平成21年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールで、江釣子小3年の堀口莉奈さんの作品「わっ 芽だ!」が準特選(林野庁長官賞)に輝きました。全国から7万6,472点の応募の中からの受賞です。

堀口さんは、友達と一緒に山で花の種をまき、芽が出たときの喜びを描きました。授業の休み時間など細切れの時間を利用して完成させた堀口さんは、「賞に入らなくてもいいから描きたかった。すごくうれしい」と喜んでいました。

県内では堀口さんのほか、黒沢尻北小6年の平苑佳さんが小学校の部で、東陵中1年の菅野悠香さんもそれぞれ入選に当たる国土緑化推進機構理事長賞を受賞しました。



家族や支えてくれた人への感謝とこれからの決意を語った高橋剛志さん

## 社会の一員として心新たに 福祉成人祝賀会

北上市社会福祉協議会主催の福祉成人祝賀会は11日、ホテルシティプラザ北上で開かれました。

療育手帳や身体障害者手帳などを持つ新成人5人とその家族、福祉関係者ら合わせて約100人が出席。小笠原祐二同協議会会長から「今日から大人の仲間入り。夢と希望を持ってこれからの人生を切り開いてほしい」とお祝いの言葉が贈られました。新成人を代表して高橋剛志さんが「20年間見守ってくれた家族に感謝。大人としての自覚を持ち、社会の一員として一生懸命歩んでいきたい」と決意を語りました。

遠藤讓一支部長から選定証を受け取る  
及川豊副会長(右)



## 元気なコミュニティに選定 岩崎地区自治振興協議会

県の「元気なコミュニティ100選」に選定された岩崎地区自治振興協議会(千田克麿会長)への選定証交付式は10日、岩崎地区交流センターで行われました。

同協議会は、地域活性化のため平成13年から全日本創作太鼓フェスティバルを開催。若者から年配者まで地域を挙げて大会を盛り上げています。また、地域を流れる夏油川の環境を保全するため、環境スクールの開催や景観づくり活動などに取り組んでいます。

同100選には、19年度に黒岩自治振興会が選定されています。

## 伝統行事再現し豊作祈願 ミズキダンゴづくり

みちのく民俗村で10日、小正月行事のミズキダンゴづくりが行われ、五穀豊穡(ほうじゆう)を祈願しました。

この行事は北上地方の風習を体験してもらう年中行事再現の一つ。参加した9人は、四角く切ったもちをミズキの枝に一つ一つ丁寧に差しました。飾り付けの後には昔話を聞いたり、きな粉や小豆などで味付けしたもちの試食(こうだい)をしたりしながら伝統行事を満喫。お母さんと兄・寺田恒大君と一緒に参加した圭佑君(4歳)は「うまくてきた。おもちがおいしかった」とご満悦でした。



豊作を祈りながら赤や緑色のもちをミズキに差しました

## 思い思いの工作に挑戦 冬休み子供体験教室

北上市自治振興公社主催の冬休み子供体験教室は12月25日、ふるさと体験館「北上」で開かれました。市内の小学生や幼児26人が参加。竹とんぼ、万華鏡、七宝焼きの中から好きなものを選び、北上ユースワーカーの皆さんの指導を受けながら完成させました。

七宝焼に取り組んだ小原和也君(黒西小3年)は「明るく、いい感じに出来上がった」と満足そう。竹とんぼ作りに挑戦した及川瑠生君(二子小3年)は「遠くまで飛ばすことができた。おうちでもやってみよう」と笑顔で話していました。

万華鏡はペットボトルを使って製作。  
和紙で包んで出来上がり



小学校低学年の部のかかるた取り。一枚でも多く取ろうとみんな真剣です

## 手作りかるたで防犯学ぶ 防犯きたきたカルタ大会

黒沢尻北地区交流センター主催の「防犯きたきたカルタ大会」は8日、同センターで行われました。昨年に引き続き2回目の開催。黒沢尻北小学校の児童に防犯に関する標語と絵を募り、全児童の約3分の1に当たる329人が応募。寄せられた句は、「㊦: さようなら家へ帰ろうまっすぐに」といったものから「㊧: よく聞いてほんとにその声息子なの?」など振り込め詐欺にまつわるものまで幅広い分野にわたりました。

入選作品を使ってのかかるた取りでは、どの児童も標語の意味を考えながら絵札を取り合っていました。